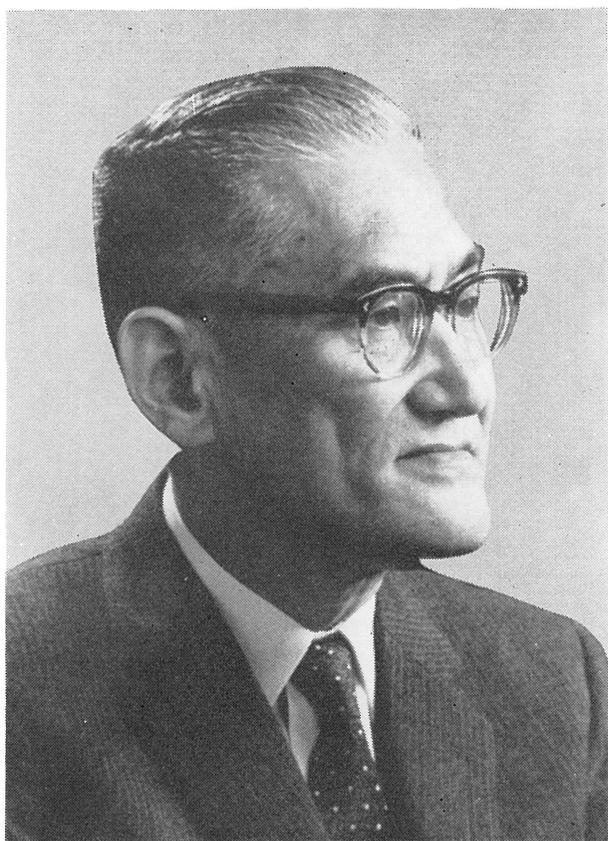


[70]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339149>

出版情報：文學研究. 70, 1973-03-25. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

前川俊一教授近影



村山七郎教授近影



前川 俊 一 教授 略 歴

明治四十一年 六月 三重県南牟婁郡（現熊野市）木本町五五三番地に生まれる。

大正 十四年 三月 三重県立木本中学校四年修了。

昭和 三年 三月 第三高等学校文科甲類卒業。

昭和 六年 三月 京都帝国大学経済学部卒業。

昭和 六年 四月 東京帝国大学文学部英吉利文学科入学。

昭和 九年 三月 東京帝国大学総長よりシェイクスピア賞牌を授与される。

昭和 九年 三月 東京帝国大学英吉利文学科卒業。

昭和 九年 三月 東京府女子師範学校教諭心得兼東京府立第二女学校教諭心得を命ぜられる。

昭和 九年 九月 同右教諭に任ぜられる。

昭和 十二年 三月 第二高等学校教授に任ぜられる。

昭和 十八年 四月 第三高等学校教授に任ぜられる。

昭和二十三年 三月 九州大学法文学部助教に補せられる。（英文学）

昭和二十四年 四月 九州大学文学部の開設にともない、九州大学文学部助教となる。

昭和二十八年 四月 九州大学文学部助教（新制）に配置換え、大学院文学研究科授業担当を命ぜられる。

昭和二十八年十一月 英文学研究および英国風物国情などの視察のため英国およびヨーロッパ各国に出張を命

ぜられる。

昭和三十年 三月 帰国

昭和三十三年 十月 九州大学文学部教授に昇任。大学院文学研究科指導教官を命ぜられる。

昭和三十六年 七月 九州大学評議員に併任せられる。大学院委員会委員を命ぜられる。

昭和三十六年十二月 昭和三十七年度九州大学入学試験委員会委員長を命ぜられる。

昭和三十七年 十月 教養部審議会委員を命ぜられる。

昭和三十九年 四月 九州大学文学部長に併任せられる。大学院文学研究科長を命ぜられる。

昭和四十一年 五月 九州大学長事務代理を命ぜられる。

昭和四十一年 五月 同右免ぜられる。

昭和四十一年 七月 九州大学文学部長を免ぜられる。大学院文学研究科長を免ぜられる。

昭和四十一年 八月 九州大学文学部長事務代理を命ぜられる。

昭和四十一年 十月 同右免ぜられる。

昭和四十二年 四月 九州大学評議員を免ぜられる。大学院委員会委員を免ぜられる。

昭和四十二年 七月 教養部審議会委員を免ぜられる。

昭和四十七年 三月 定年により九州大学を退官する。

昭和四十七年 四月 九州大学名誉教授の称号を授与される。

前川俊一教授講義題目

昭和二十三年度第一学期

英文学講読

英文学演習

英文学

第二学期

英文学、ワーズワス詩選

R. L. Stevenson, *Treasure Island*

英文学演習、マシユー・アーノルド「教養と無秩序」

昭和二十四年度第一学期

英文学

英文学演習、Shakespeare, *Macbeth*

英文学演習、R. Bridges, *The Testament of Beauty*

第二学期

演習 R. L. Stevenson, *Dr. Jekyll and Mr. Hyde*

十九世紀英文学史

演習 Thomas Carlyle, *Sartor Resartus*

演習 Shakespeare, *Macbeth*

昭和二十五年第一学期

講義

演習 Shakespeare, *The Merchant of Venice*

演習 R. Bridges, *The Testament of Beauty*

第二学期

英国十九世紀英文学史

演習 R. Browning,

演習 Hazlitt, *Selections from Hazlitt's Essays*

昭和二十六年第一学期

十八世紀英詩人研究

演習 「ホープの詩」

演習 Ruskin, *Modern Painters*

演習 T. S. エリオットの批評集

第二学期

十八世紀詩人研究

演習 *Golden Treasury of Modern Lyrics*

演習 A. Huxley

演習 Shakespeare, *Twelfth Night*

昭和二十七年第一学期

ミルトン研究

講読 Byron, *Childe Harold*

講読 Galsworthy, *The Forsyte Saga*, Vol. I.

第二学期

ミルトン研究

講読 Shakespeare, *Hamlet*

演習 キーツ詩文選

昭和二十八年第一学期

講義 ワーズワス序説

講読 Smollett, *Roderick Random*

演習 R. Browning, *The Ring and the Book*

昭和二十八年第二学期より昭和二十九年第二学期迄イギリス留学のため休講

昭和三十年第一学期

演習 ワーズワス

十九世紀英詩論

散文講読

第二学期

講義 ワーツワス

講読 二年生用

講読 A. Pope の詩と小説

昭和三十一年度第一学期

講読 D. K. Roberts (ed.), *Donne to Dryden*

講義及び講読 ヴィクトリア朝の英詩

講読 B. Shaw, *Saint Joan*

講読 *Eight Essayists*

第二学期

演習 ダン詩文選

十九世紀英国文芸研究

講読 C. Dickens, *The Old Curiosity Shop*

講読 キーツ詩文選

昭和三十二年第一学期

十九世紀英国文芸研究

演習 Jones (ed), *English Critical Essays*

講読 W. Hazlitt, *Lectures on English Poets*

講読 M. Arnold, *Essays in Criticism*

第二学期

演習 Shakespeare, *The Sonnets*

特研

英国十九世紀文芸研究

講読 V. Woolf, *To the Lighthouse*

講読 Jones (ed.), *English Critical Essays*

昭和三十三年度第一学期

講義

演習 J. Webster, *The Duchess of Malfi*

講読 V. Woolf, *To the Lighthouse*

講読 ダン詩文選

第二学期

講義 英文学史

演習 M. Roberts(ed.), *The Faber Book of Modern Verse*

講読 C. Dickens, *Martin Chuzzlewit*

講読 ミルトンの詩

昭和三十四年度第一学期

講義 ミルトン

特研

講読 C. Dickens, *Martin Chuzzlewit*

講読 E. D. Jones(ed.), *English Critical Essays*

第二学期

講義 ミルトン

演習 ミン・シモンソンの劇

講読 W. Hazlitt, *Table Talk*

講読 E. D. Jones(ed.), *English Critical Essays*

講読 G. Gissing, *The Private Papers of Henry Ryecroft*

昭和三十五年第一学期

講義 J. Hayward(ed.), *The Penguin Book of English Verse*

演習 W. Wordsworth, *The Prelude* Vol. I

講読 J. Conrad, *Shadow Line*

講読 S. T. Coleridge, *A Selection*

第二学期

講読 *The Penguin Book of English Verse*

特研

講義 ヴィクトリア朝文学

講読 コンラッド

昭和三十六年度第一学期

演習 *Sweet's Anglo-Saxon Primer*

講義 英文学の研究と文献

演習 *Wordsworth, The Prelude*

講読 *C. Dickens, Hard Times*

講読 バイロン詩文選

第二学期

講義 英文学の研究と文献

演習 ポープ研究

講読 *L. D. Lerner, English Literature*

講読 *R. Browning, Men and Women*

昭和三十七年度第一学期

講義 英文学の研究と文献

演習 ポープ

演習 *Penguin Book of English Verse*

講読 *English Critical Essays*

第二学期

講義 英文学の研究と文献

特研

演習 *English Critical Essays*

講読 *The Penguin Book of English Verse*

昭和三十八年度第一学期

講義 ミルトン研究

演習 Dryden, *Satires*

講読 *A Book of English Poetry*

講読 G. Eliot, *Silas Marner*

第二学期

講義 ミルトン

演習 ダン

講読 ヴィクトリア朝英詩

講読 V. Woolf, *To the Lighthouse*

昭和三十九年度第一学期

講義 ミルトン

演習 Milton, *Samson Agonistes*

講読 *Penguin Book of English Verse*

講読 V. Woolf, *To the Lighthouse*

第二学期

講義 ミルトン

特研 Milton, *Samson Agonistes*

講読 *Penguin Book of English Verse*

講読 M. Arnold, *Essays in Criticism*

昭和四十年第一学期

講義 Legouis, *A Short History of English Literature*

演習 英国現代の文学批評

第二学期

講義 英文学史

演習 Wordsworth, *The Prelude*

講読 *Penguin Book of English Verse*

昭和四十一年度第一学期

講義 *English Essays*

演習 *The Prelude*

講読 George Eliot, *Adam Bede*

第二学期

講読 V. Woolf, *Mrs. Dalloway*

特研 Wordsworth, *The Prelude*

講読 *English Essays*

昭和四十二年度第一学期

講義 古典主義と浪漫主義

演習 Select Poems of John Donne

講読 Shakespeare, *The Merchant of Venice*

第二学期

講義 英詩の歴史

特研

講義 A. Huxley, *Brave New World*

講義 Shakespeare, *Julius Caesar*

昭和四十二年度第一学期

講義 R. Browning, *Men and Women*

演習 Wordsworth, *The Prelude*

特研 シモン・スーン

講義 J. Conrad, *Typhoon and the Nigger of the Narcissus*

第二学期

演習 Wordsworth, *The Prelude*

講義 Shakespeare, *Othello*

講義 L. D. Lerner, *English Literature*

昭和四十四年度第一学期

講義 E. Legouis, *A Short History of English Literature*

演習 *The Essential James Joyce*

講義 Shakespeare, *Romeo and Juliet*

講義 V. Woolf, *To the Lighthouse*

第二学期

講義 E. Legouis, *A Short History of English Literature*

演習 J. Joyce, *A Portrait of the Artist as a Young Man*

講義 V. Woolf, *To the Lighthouse*

講義 Shakespeare, *A Midsummer Night's Dream*

昭和四十五年度第一学期

講義 Legouis, *A Short History of English Literature*

演習 W. B. Yeats,

講義 <一>の註

講義 J. Galsworthy, *Indian Summer of a Forsyte*

第一学期

特研 W. Pater, *Marius the Epicurean*

講義 L. D. Lerner, *English Literature*

講義 A. Huxley, *Stories, Essays, and Poems*

昭和四十六年度第一学期

講義 R. Browning, *Men and Women*

講義 G. Eliot, *Silas Marner*

演習 J. Donne, *Select Poems*

第二学期

講読 G. Gissing, *The Private Papers of Henry Ryecroft*

講読 M. Arnold, *Essays in Criticism*

演習 W. Wordsworth, *The Prelude*

前川俊一教授著作目録

論 文

西欧の詩と泣墓（「オムロン」第一号 昭和七年十一月）

“The House of Life”における“Imagery”の特質について（「オムロン」第四号 昭和八年十一月）
Imageries in “The House of Life”（「英文学研究」第十六卷第四号 昭和十一年十月）

クーバーを中心として（「オムロン」第二卷第三号 昭和十三年十一月）

アーノルドと教養の精神（「オムロン」第三卷第三号 昭和十四年十一月）

ワーズワースと詩の生成（「オムロン」第四卷第三号 昭和十六年八月）

ワーズワースのソールズベリ・ティンターン旅行（九州大学法文学部「文学研究」第三十七輯 昭和二十三年十二月）

ワーズワースにおける自然観の進展（「文学研究」第三十八輯 昭和二十四年十二月）

ワーズワース「辺境の徒」について（上）（九州大学文学部「文学研究」第四十輯 昭和二十五年十一月）

バイロンの「ドン・デュアン」（「文学研究」第四十一輯 昭和二十六年三月）

ワーズワース「辺境の徒」について（中）（「文学研究」第四十二輯 昭和二十六年十一月）
ワーズワース「辺境の徒」について（下）（「文学研究」第四十三輯 昭和二十七年三月）
壮大なる耳目の世界（上）（「文学研究」第四十五輯 昭和二十八年三月）

William Wordsworth's Salisbury-Tintern Tour (Bulletin of the Faculty of Literature,

Kyushu University, No. 2 (Febr., 1954))

ルーン詩群について（「文学研究」第五十四輯 昭和三十一年三月）

壮大なる耳目の世界（中）（「文学研究」第五十五輯 昭和三十一年九月）

ワーズワース（「英語教育」第六卷第二号 昭和三十二年五月）

ワーズワースとデイヴィッド・ハートレーの哲学（上）（「文学研究」第五十七輯 昭和三十三年三月）

William Wordsworth and the Philosophy of David Hartley

(Bulletin of the Faculty of Literature, Kyushu University, No. 5 (Jan. 1959))

“Immortality Ode”と星 太陽（英語青年」第二〇五卷第二号 昭和三十四年二月）

ワーズワースとデイヴィッド・ハートレーの哲学（下）（「文学研究」第五十八輯 昭和三十四年七月）

ワーズワース（研究社「英米文学史講座」第七卷 昭和三十五年十一月）

ワーズワース研究の一焦点（「英語青年」第一〇七卷第一〇号 昭和三十六年十月）

「序曲」冒頭五十四行の創作年代について（「文学研究」第六十二輯 昭和三十八年九月）

London or Goslar?—on the composition of the ‘Preamble’ to The Prelude—

(*Studies in English Literature*, English Number 1964 (March, 1964))

「序曲」の起源—「隠者」から「序曲」へ—(九州大学 文学部)「創立四〇周年記念論文集」昭和四十一年一月)

「キャタピラ」考(「英語青年」第一二二巻第八号 昭和四十一年八月)

壮大なる耳目の世界(下)(「文学研究」第六十四輯 昭和四十二年三月)

近年のワーズワス研究書(「英語青年」第一二三巻第九号 昭和四十二年九月)

「ひとり麦刈る乙女」考—「壮大なる耳目の世界」拾遺—(「文学研究」第六十五輯 昭和四十三年三月)

Romantic Poetry と自然(「英語研究」第五七巻第三号 昭和四十三年三月)

随 筆(英文学関係)

蛙(科学ペン社「科学ペン」第六巻第六号 昭和十六年六月)

スタインベックの「廿日鼠と人間について」(西日本文化人協会「文化人」第二号 昭和二十四年一月)

「あちら」談義(うわさ社「うわさ」第一五巻第八号 昭和二十四年八月)

校風をつけてあるくイギリス人(新月社「あるびよん」第一巻第二号 昭和二十四年十月)

英京雑記(「文学研究」第五十二輯 昭和三十年六月)

ロンドンの古本屋地図(「古書通信」第二〇巻第七号 昭和三十年七月)

Oxford の Summer School(「英語青年」第一〇二巻第九号 昭和三十年九月)

Dickens の London(「英語青年」第一〇二巻第五号 昭和三十一年五月)

Virginia woolf: To the Lighthouse—生と時と死—(「英語研究」第四八巻第二号 昭和三十四年二月)

White Horse Hill (「英語研究・創刊五〇年記念号」第四八卷六、七号 昭和三十四年六月)

名は体を(「英語と英文学」昭和四十三年五月号)

イギリスの夏(研究社「英語歳時記・夏」昭和四十三年十月)

著 書

若きワーズワース―詩心の成長と遍歴―(英宝社 昭和四十二年十二月)

註 解

The Prelude by W. Wordsworth Vol. II (研究社 昭和四十年十二月)

ワイリアム・ワーズワース 抒情民謡集序文 訳註(研究社 昭和四十二年九月)

The Prelude by W. Wordsworth Vol. I with notes by T. Taketomo,

Revised with Introduction by S. Maekawa (研究社 昭和四十二年十月)

訳 書

ウィルヘルム・ダイペーリウス 「英国」(川村泉氏と共訳) (日新書院 昭和十八年十一月)

ヒューズ・「トム・ブラウンの学校生活」(新月社 昭和二十二年十一月、岩波書店(上)昭和二十七年六月(下) 同二十七年七月)

同二十七年七月)

ヘンリー・フィンデルディング 「トム・デウォンズ」(上巻) (世界文学社 昭和二十四年三月)

ワーズワース詩集(弥生書房 昭和四十一年八月)

緑蔭抄―前川俊一訳詩集―(英宝社 昭和四十六年六月)

村山七郎教授略歴

明治四十一年十二月二十五日 茨城県に生まれる

昭和四年四月 第二早稲田高等学院入学、ドイツ語、ロシア語を学ぶ

昭和六年三月 右修了

昭和十七年十月～二十年三月 ベルリン大学文学部東洋言語学科においてアルタイ系言語、アルタイ諸語比

較文法を専攻

昭和二十三年四月 順天堂医科大学予科教授

昭和二十六年四月 順天堂大学教授(体育学部)

昭和三十八年四月 順天堂大学教授(医学部)

昭和四十年 西独ルール大学客員教授(自四十年冬学期、至四十一年夏学期)

昭和四十三年四月 九州大学教授(文学部)

昭和四十七年三月 定年により九州大学を退官

昭和四十七年四月 京都産業大学教授

村山七郎教授講義題目

昭和四十三年度第一学期

日本語系統論(講義)

トルコ語初歩(講読)

ロシア語初歩（講読）

四十三年度第二学期

日本語系統論（講義）

ロシア語中級（講読）

トルコ語中級（演習）

印欧言語学（演習）

四十四年度第一学期

史的言語学概論（イエルクムスレウ「言語学入門」）（講義）

印欧言語学（H. Krahe : Indogermanische Sprachwissenschaft）（演習）

トルコ語中級（Ajdarov : Jazyk Orkhonskogo Pamjatniko）（演習）

四十四年度第二学期

史的言語学概論（イエルクムスレウ「言語学入門」）（講義）

印欧言語学（H. Krahe : Indogermanische Sprachwissenschaft）（演習）

ロシア語（We read Russian）

ロシア語初級（八杉貞利「初等ロシア語文法」）

四十五年度第一学期

言語学概論（講義）

元朝秘史モンゴル語 (特講)

アルタイ言語学 (N. Poppe : Introduction to Altaic Linguistics) (演習)

トルコ語初級 (竹内和夫「トルコ語入門」) (演習)

ロシア語中級

四十五年度第二学期

言語学概論 (講義)

17世紀モンゴル年代記シャラ・トゥージ (特講)

トルコ語中級 (G・アイダーロフ「オルホン碑文」) (演習)

アルタイ言語学 (N. Poppe : Introduction to Altaic Linguistics) (演習)

ロシア語中級

四十六年度第一学期

言語学概論 (講義)

ウラルアルタイ言語学 (Fokos-Fuchs : Rolle der Syntax in der Frage nach Sprachverwandtschaft) (特講)

モンゴル語中級 (特講)

トルコ語中級 (S. Malov : Pamjatniki drevne-tjurkskoj Pis'mennosti) (演習)

四十六年度第二学期

比較言語学 (A.Meillet : La méthode comparative en linguistique historique) (特講)

アルタイ言語学 (N.Pope : Vergleichende Grammatik der altaischen Sprachen) (演習)

トルコ語中級 (ウイグル語テキスト) (演習)

ロシア語中級 (V.A. Zvegincev : Shto izuchaet jazыkoznanie?) (講読)

言語学特研

村山七郎教授研究著作目録

一、著書

漂流民の言語

吉川弘文館

昭和 四十年三月

北樺聞略 (亀井高孝氏と共編著)

吉川弘文館

昭和 四十年五月

魯西亜文学集

吉川弘文館

昭和 四十二年九月

北千島アイヌ語

吉川弘文館

昭和 四十六年

魯西亜辨語 (亀井高孝氏等と共編著)

近藤出版社

昭和 四十七年

二、論文、書評

Ein Versuch zum Vergleich der Ainu-Sprache mit den Kaukasischen Sprachen Nippon,

Zeitschrift für Japanologie. 10. Jahrgang, Heft 1, Heft 2, Berlin

昭和 十九年

成吉思汗碑文の解説 東大言語研究室編 東洋語研究 No.4

昭和二十三年

古代日本語の母音調和の問題に寄せて 言語研究第14号

”

- Über die Inschrift auf dem "Stein des Cingis" ORIENS, vol. III, Nr. 1. Leiden 昭和二十五年
- 古代日本語における代名詞 言語研究第15号 //
- 吾妻鏡に見える女真語について 東洋学報第33卷第三、四号 昭和二十六年
- 元朝秘史の漢字転写の原典に関する諸見解 アジア言語研究第一号 //
- 契丹字解読の方法 言語研究第17、18号 //
- 元朝秘史蒙古語における・Sに終る Converbium 言語研究第19、20号 //
- 元朝秘史における二つの単語 *ha'ul* と *ga'ul* - アジア言語研究第3号 昭和二十七年
- 古代語「とほしろし」と「のどよひ」について 国語国文第21卷第7号 //
- 白鳥博士「音訳蒙文元朝秘史」について 東洋学報第35卷第3、4号、第36卷第1号 昭和二十八年
- Über die Annahme, daß der chinesischen Transkription der Geheimen Geschichte der
 Mongolen ein Original in *hyrags-pa Schrift* zu Grunde liege. 言語研究第24号 //
- 古代日本語彙ニ二三の比較的考察 民族学研究第14卷第4号 //
- 古代日本語の二、三の音韻現象について 国語学第17号 昭和二十九年
- 連濁について 言語研究第26、27号 //
- 亀井孝氏「ツル」と「イト」を読み 国語学第二十号 昭和三十年
- イル汗アングンの手紙の内容 ユーラシア学会研究報告、遊牧民の研究
- 元朝秘史蒙古語の研究

I 元朝秘史蒙古語における Ablativ の用法

II 元朝秘史漢字音訳成立年代の問題 ユーラシア学会研究報告、内陸アジアの研究

万葉語の語源。日本語の系統論に関して 国文学解釈と鑑賞第二四五号 昭和三十一年

Vergleichende Betrachtung der Kasusuffixe im Altjapanischen

Studia Altaica, Festschrift für N. Poppe. Wiesbaden 昭和三十一年

大野晋氏「日本語の起源」を読む 国語学第三十一号 //

Einige Formen der Stamverkürzung in den altaischen Sprachen

ORIENS, Vol. XI. Nr. 1—2, Leiden 昭和三十三年

ソ連の民族と言語 ソ連問題第二卷第三号 //

Einige Bemerkungen über die Klassifikation der Sprachen 順天堂大学体育学部紀要第一号 //

言語学展望 国語年鑑 //

ソ連言語学の発展と現状 外務省「ソ連月報」第二四八号 //

Sind die Naiman Türken oder Mongolen? Central Asiatic Journal, Vol. IV. Nr 3 昭和三十四年

Zwei mongolische Manuskripte aus Ost-Turkestan. Central Asiatic Journal, Vol. IV. Nr. 4 //

言語学展望 国語年鑑 //

- 言語年代学は学として可能か 日本人類学会日本民族学協会連合大会第十三回記事 // 昭和三十五年
- 意味論における一つのアスペクト 順天堂大学体育学部紀要第三号 // 昭和三十五年
- ソ連トルコ学研究管見 スラヴ研究 // 昭和三十五年
- 中期蒙古語の諸問題 東洋学報第四三卷第一、二号 // 昭和三十五年
- Die Formen des Dativ-Lokativs in der Geheimen Geschichte der Mongolen und dem Hua-i-ih-yü, Festschrift für Von Gabain, Wiesbaden // 昭和三十五年
- ソ連の言語地理学 方言研究年報第三卷 // 昭和三十五年
- 言語学展望 国語年報 // 昭和三十五年
- 華夷訳語と元朝秘史の成立の先後に関する問題の解釈 東方学第二二号 // 昭和三十五年
- 服部四郎、言語学の方法(書評) 国語学第四四号 // 昭和三十五年
- 言語学展望 国語年鑑 // 昭和三十五年
- 日本語系統論・系統論の歴史 国語国文学研究大成二五 // 昭和三十五年
- 日本語と高句麗語との関係に関する暫定報告 順天堂大学体育学部紀要第四号 // 昭和三十七年
- 日本語の比較研究から 国語学第四七号 // 昭和三十七年
- 日本語及び高句麗語の数詞 国語学四八号 // 昭和三十七年
- 日本語のツングース語的構成要素 民族学研究第二六卷三号 // 昭和三十七年
- 言語系統研究の方法 順天堂大学体育学部紀要第五号 // 昭和三十七年

Eymologie des altjapanischen Worte sirô "Farbe, Gesichtsfarbe"

Ural-Altaische Jahrbücher, Bd. XXXIV. Heft 1—2.

Einige Eigentümlichkeiten der chinesischen Transkription des Mongolen nuca toba an.

TrudyXXXV. Mejdnarodnogo Kongressa Vostokovedob. Tom III Moskva

ア・タターリンの「ベクシモン」の東北方言について 国語学第五二号

ア・タターリンの「ベクシモン」の会話編について 国語学第五四号

パラス編約定全世界言語比較辞典の日本語について 国語国文第三二卷第一一号

光大夫の言語資料 順天堂大学体育学部紀要第六号

Über die Japanische Sprache der Göttinger Manuskripte. Berichten der

Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasiens / Hamburg. Nr. 94

Über einige Japanische Kulturwörter altaischen Ursprungs. *Aspects of Altaic Civilization*. Vol. 23 of

the Uralic and Altaic Series. Indiana Univ.

Eine nestorianische Grabinschrift in türkischer Sprache aus Zaiton

Ural-Altaische Jahrbücher, Vol. XXXV.

Über die nestorianischen Grabinschriften in der Inneren Mongolei und in

Südcina L'oriente Cristiano nella Storia della Civiltà, Roma

- 日本文法の特質 国語文法講座一 昭和 四十年
 ソ連における日葡辞書の存在 国語国文第三号 〃
 言語学展望 国語年鑑 〃
 言語学的に見た日本文化の起源 民族学研究第三〇卷第四号 昭和四十一年
 Mongolisch und Japanisch. Ein Versuch zum lexikalischen Vergleich. Collectanea Mongolica, Wiesbaden 〃
 レニングラードの拉葡日辞典 順天堂大学体育学部紀要第八号 〃
 ロシアへの漂流民サニマについて 日本歴史第二三二二号 昭和四十二年
 日本語起源論について——服部四郎氏に答える—— ことばの宇宙第六号 〃
 わが国最初のロシア民族誌 民族学研究第三卷第一号 〃
 Ainu in Kamutchatka, Bulletin of the Faculty of Literature Kyushu University. No.12 昭和四十三年
 Über die Worte *Jigür-e (h)arwran* in dem Brief des Ilkan Arrun. 昭和三十八年
Studies in South, East, and Central Asia. New Delhi 昭和三十八年
 書評、小沢重男、古代日本語と中世モンゴル語——その若干の単語の比較研究—— 昭和四十四年
 付元朝秘史モンゴル語語彙索引(抄) 言語研究五五 昭和四十四年
 Pervye v Japonii svedeniya o narodnostyax Rosii. Narodny Azii i Afriki No.1 1969 Moskva

- 中期モンゴル語に保存されたモンゴル語の非派生的長母音 福田良輔教授退官記念論文集 昭和四十四年
- 権左(ポモルツェフ)・ア・ボグダーノフ共著、簡略文法について 文学研究六六 //
- DYBOWSKI のシムムシム島アイヌ語資料について(一) 文学研究六七 昭和四十五年
- ロシア語におけるアイヌ語からの一借用語と地名 calque 言語研究五七 //
- Die Entwicklung der Theorie von den primären langen Vokalen im Mongolischen. *Mongolian Studies. Bibliotheca Orientalis Hungarica XIV, Budapest* //
- しなてる・てるしの考 国語学八一 //
- 原始日本語の数詞イタ「一」について 国語学八六 昭和四十六年
- 古代語アヒ「豈」について 国語国文四〇—二二 //
- 書誌 Michael Weiers: Untersuchungen zu einer historischen Grammatik des präklassischen Schriftmongolisch. 言語研究五九 //
- 新スラヴ、日本語辞典における十八世紀初めの薩摩方言語彙 文学研究六八 //
- Etymologie des Aj. *kusirö* "Armband" — NK, MK *kusil* "Juwel" 文学研究六九 昭和四十七年